特別支援学級国語科学習指導案

日　時　令和３年１０月１５日（金）５校時
授業者　なのはな学級
　　ひまわり学級
学習者　なのはな学級　５名（知的）
　　ひまわり学級　４名（情緒）

１ 単元名　体験したことを伝えよう
　教材名　自分の体験について分かりやすく発表しよう
２ 単元について
（１）児童について
　なのはな学級では、通常、４年生児童（知的障がい２名、自閉・情緒障がい３名）の５名が学習している。ひまわり学級では、通常、５年生児童（知的障がい２名）、６年生児童（知的障がい１名、自閉・情緒障がい１名）の４名が学習している。
　なのはな学級では本研究に関わって、朝・帰りの会で一人一人がその日の出来事などを発表し、他の児童が質問や感想を言うということを繰り返している。日々の国語の授業は、教科書を使用しての音読練習や、文章と写真や図などを関連させて読み取りをしている。また、個に応じた読み・書き・語彙の学習プリントで補充学習を行っている。
　ひまわり学級では本研究に関わって、週末の出来事を日記に書き、月曜日に発表することにしている。そして他の児童が質問や感想を言うということを繰り返している。また、ディベート授業も積極的に取り入れている。日々の国語の授業は複式のスタイルを取り、担任が渡りをした学年は国語の教科書で一緒に学習し、他の学年の児童はドリル等で自学をしている。
　児童の作文を書く力は、学年を問わず自力である程度簡単に作文できる児童、聞き取りをしながら作文に支援が必要な児童と様々である。
　また、みんなの前での発表や、質問や感想を話す場面についても、自力で積極的にできる児童と事前練習や当日の支援が必要な児童、事前にやる気を見せていても直前になって調子が崩れる児童など様々である。

（２）教材について
　学習指導要領に国語科の目標として、「（２）日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う」とある。
　本校の研究主題「主体的な学びに向かう児童の育成～『伝え合う活動』を取り入れた学習指導の工夫～」に関わり、国語の学習として特別支援学級の児童も、伝える作文を書く力、伝える発表の力、発表を理解して聞き質問や感想などを話す力などを個々に応じて伸ばしていきたいと考え、本教材を設定した。

（３）指導にあたって
　本単元のゴールは、自分の体験を発表したり、発表を聞いて質問や感想を伝え合ったりする場面（本時）である。第１時から第４時までは、児童それぞれの実態を踏まえて、伝える内容の作文指導、資料の用意の支援、発表の仕方の指導、正しい聞き方、質問や感想を話す指導のあり方を考え、各担任が事前に指導を行う。
　本時は、様々な児童（異学年）との関わりを持たせ、障がいに応じた指導・支援の手立てを工夫するという観点から、通常の学習集団とは異なる学習集団（障がい種別）で発表会を行う。

３　単元の目標
（１）「自分の体験」について、伝える内容を考えることができる。
（２）伝える内容について作文を書くことができる。
（３）発表会を開き、「自分の体験」を発表するとともに、友達の内容について質問したり、感想を話したりすることができる。
（４）自分の目標を持ち、ふりかえることができる。

4　ひまわり学級で発表する児童の（本単元にかかわる）実態及び単元の目標

1　書く力　　2　発表する力　　3　発表を聞いて質問・感想を伝える力

	国語学習の実態	単元の目標	支援の手立て
4年A女	1自分で文章は書けるが、自分の思いが先行してしまう。 2思ったことが先行し、言いたいことがうまく伝わらないことがある。 3話を聞き逃し、話題に合ったことが言えないことがある。	1事柄の順序に沿って、分かりやすく書くことができる。 2はっきりと大きな声で話すことができる。 3発表する人を見て聞き、思ったことを話すことができる。	1教科書や学習シートを見ながら学習内容をふり返らせ順序よく書かせる。 2声の大きさや速さを意識して練習を重ねる。 3発表する人に注目して聞くことを意識させる。
4年B女	1文を書く意欲は高いが、基礎的な事項が未定着である。 2自分の思いだけが先行してしまい、話がまとまらないことが多い。 3積極的に、質問や感想を詳しく伝えることができる。	1正しい文字や、基礎的な文法の使い方に気をつけ、分かりやすい文章を書くことができる。 2聞き手に伝わるように、落ち着いて話すことができる。 3発表をよく聞いて、自分の考えを分かりやすく話すことができる。	1自分の体験を通しての思いが伝わるように、正しい文が書けているか一文ずつ確認する。 2読めない文字に、ルビをふりながら読む練習をする。 3興味を持った内容について、質問か感想かをはっきりさせてから話させる。
4年C男	1体験したことと、自分が思ったことを織り交ぜながら文を書くことができる。 2自分の思いを、順序立てて発表することができる。 3質問や感想を詳しく伝えることができる。	1体験したことや、思ったことを詳しく書くことができる。 2聞き手に伝わるように、声の大きさや速さに気をつけて話すことができる。 3発表をよく聞き、自分の思ったことを詳しく話すことができる。	1体験内容を振り返らせ、順序よく書かせる。 2声の大きさや速さを意識させる。 3興味を持った内容について、質問か感想かをはっきりさせて話させる。
6年D男	1自力で、長文を書くことができる。 2自分の考えを、訳を加えながら伝えることができる。 3話の内容に沿った質問や感想を話すことができる。	1自分の体験や気持ちを、分かりやすく書くことができる、 2早口にならないように、分かりやすく読むことができる。 3自分の考えに自信を持って、話すことができる。	1段落を意識して、文章を書くように促す。 2声の大きさや、速さを意識して読むように促す。 3集中して、人の発表を聞くように促す。

なのはな学級で発表する児童の（本単元にかかわる）実態及び単元の目標

1　書く力　　2　発表する力　　3　発表を聞いて質問・感想を伝える力

	国語学習の実態	単元の目標	支援の手立て
4年E男	1促音、拗音が未定着である。 2文を読むときは、たどたどしいが、発表意欲はある。 3簡単な感想は、自力で言うことができる。	1促音や拗音に気をつけながら、書くことができる。 2聞き手に伝わるように、句読点に気をつけて読むことができる。 3自分の考えを、自信を持って話すことができる。	1一文ずつ確認しながら、書いていく。 2練習を重ね、自信を持たせる。 3自信がないときは、ヒントカードを活用する。
4年F女	1短文は書けるが、誤字や脱字が多い。 2順序よく話すことが困難で、話があちこちとぶことがある。 3簡単な質問や感想はいうことができる、	1誤字や脱字に気をつけながら正しく書くことができる。 2大きな声で、ゆっくり話すことができる。 3興味を持った内容について、的を射た話ができる。	1体験内容と感想を織り交ぜ、順序よく書くように促す。 2話がとばないように、順番を意識させる。 3困ったときには、ヒントカードを活用する。
5年G女	1筋道の通った文を書くことは苦手である。 2吃音傾向があり、積極的に発表はできない。 3何を話すか、決めるまでに時間がかかる。	1段落どうしのつながりを考えて書くことができる。 2大きな声で、はっきり伝えることができる。 3ヒントカードを見て、自分の考えを話すことができる。	1どんな順番で、どう書いていけばいいかを考えさせる。 2ゆっくり大きな声で読むように促す。 3どんな発表だったか復唱した上でヒントカードを活用する。
5年H男	1短文を書くことはできるが、気持ちをまとめることが苦手である。 2発表する意欲はある。 3主旨に合った話はできる。	1伝えたいことを、ふくらませて書くことができる。 2声の大きさや速さに気をつけて読むことができる。 3内容に合う話ができる。	1羅列ではなく、1番伝えたいことは何かを考えさせる。 2気持ちが伝わるように読むように促す。 3自信を持って発表できるように促す。
6年I女	1短文は、自力で書くことはできる。 2発音が不明瞭で、大きな声ではっきり伝えることが苦手である。 3ヒントカードを使いながら話すことができる。	1順序よく、できごとや自分の考えをまとめることができる。 2聞き手に分かるような声で言うことができる。 3内容に沿った発表ができる。	1できごとを想起させながら、順序よく書けるようにする。 2句読点を意識した読み方を練習する。 3ヒントカードを使い自信を持たせる。

5 指導計画（5時間）

段階	時	学　習　活　動
第1次	1 2 3 4	「自分の体験」について考え、必要な準備を考える。（各自） 説明の作文を書く。（各自） ↓ 資料と共に発表の練習をする。
第2次	5 （本時）	「自分の体験」について発表会をする。（全員） 発表し合い、質問したり感想を話したりする。

6　本　時

（1）目　標

・「自分の体験」について、分かりやすく発表することができる。
・友達の発表内容を聞いて質問したり感想を話したりできる。

（2）評　価

・「自分の体験」について、分かりやすく発表することができたか。
・友達の発表内容を聞いて質問したり感想を話したりできたか。

（3）　展開　（その１）　　場所…ひまわり学級

段階	学習内容と活動	□ めあて　▭ 評価　・個人の学習活動　◎支援の手立て ① 4年A	② 4年B	③ 4年C	④ 6年D	準備物
導入 5分	1学習内容を確認する。 **全体のめあて** **「自分の体験」について分かりやすく発表しよう。** ・質問したり感想を話したりする。（1回以上） 2個人のめあてを確認する。 3発表の仕方、聞き方、感想の話し方について確認する。	**「タブレッドで福祉を学習したよ」** ・学習して分かったことについて、はっきりと大きな声ではっきりと発表する。 ・発表する人をよく見ながら聞き、思ったことを発表する。	**「楽しかった！清そうセンター」** ・校外学習に行って分かったことについて資料を見せながら、落ち着いて発表する。 ・発表をよく聞き、自分の考えを分かりやすく発表する。	**「がんばったよ！マラソン大会」** ・マラソン大会に向けて取り組んだことやがんばったことを、はっきりと大きな 声で発表する。 ・発表をよく聞き、自分の考えたことを分かりやすく発表する。	**「川の日の行事に参加して」** ・川の日の行事に参加して、学んだことを分かりやすく発表する。 ・4年生の発表をよく聞き、高学年らしい質問や感想を話す。	全体のめあての表示 次第、個人のめあての表示 個人のめあて（各自の発表原稿） 発表の仕方・聞き方、感想の話し方表示
展開 35分	4 「自分の体験」について発表する。	・学習して分かったことについて、調べている様子の写真を交えながらはっきりと大きな声で発表する。 ◎声の大きさや速さ、間の取り方に気を付けさせる。	・校外学習で分かったことについて、資料を示しながら発表する。 ◎早口にならないように、速さや間の取り方に気を付けさせる。	・マラソン大会で頑張ったことについて、写真やカードを示しながら発表する。 ◎声の大きさや速さに気を付けさせる。	・川の日の行事で学んだことを、写真や説明書を用いながら、4年生に分かりやしく発表する。 ◎早口にならないように、練習を重ねさせる。	作文 資料 ホワイトボード
	5 友達の発表について質問したり感想を話したりする。（1人以上の友達に話す。）	・友達の発表に対して顔や体を向けて聞き、 質問や感想を話す。 ◎発表する人に注目して聞くことを意識させたり、声をかけたりする。	・友達の発表の内容を考えながら聞き、質問や感想を話す。 ◎2 回以上話せるように、興味を持ったことを引き出させる。	・友達の発表の内容を考えながら聞き、質問や感想を話す。 ◎2回以上話せるように、興味を持ったことを引き出させる。	・高学年として、4年生が理解できるような質問や感想を話す。 ◎4年生が理解できない内容のときは、易しい表現で言い直させる。	ヒントカード
終末 5分	6 学習を振り返る。 個人のめあてを振り返る。	・学習して分かったことについて、はっきりと大きな声ではっきりと発表することができたか。 ・発表する人をよく見ながら聞き、思ったことを発表することができたか。	・校外学習に行って分かったことについて資料を見せながら、落ち着いて発表することができたか。 ・発表をよく聞き、自分の考えを分かりやすく発表することができたか。	・マラソン大会に向けて取り組んだことやがんばったことを、はっきりと大きな声で発表することができたか。 ・発表をよく聞き、自分の考えたことを分かりやすく発表することができたか。	・川の日の行事に参加して、学んだことを分かりやすく発表することができたか。 ・発表をよく聞き、高学年らしい質問や感想を話すことができたか。	振り返り（各自の発表原稿）

－ 45 －

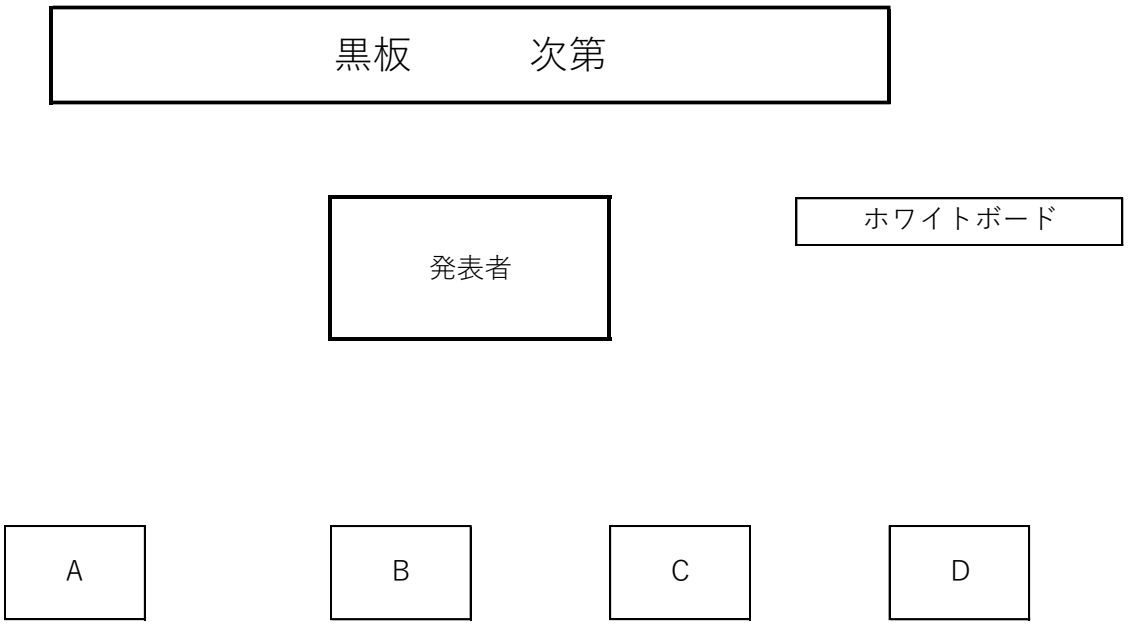
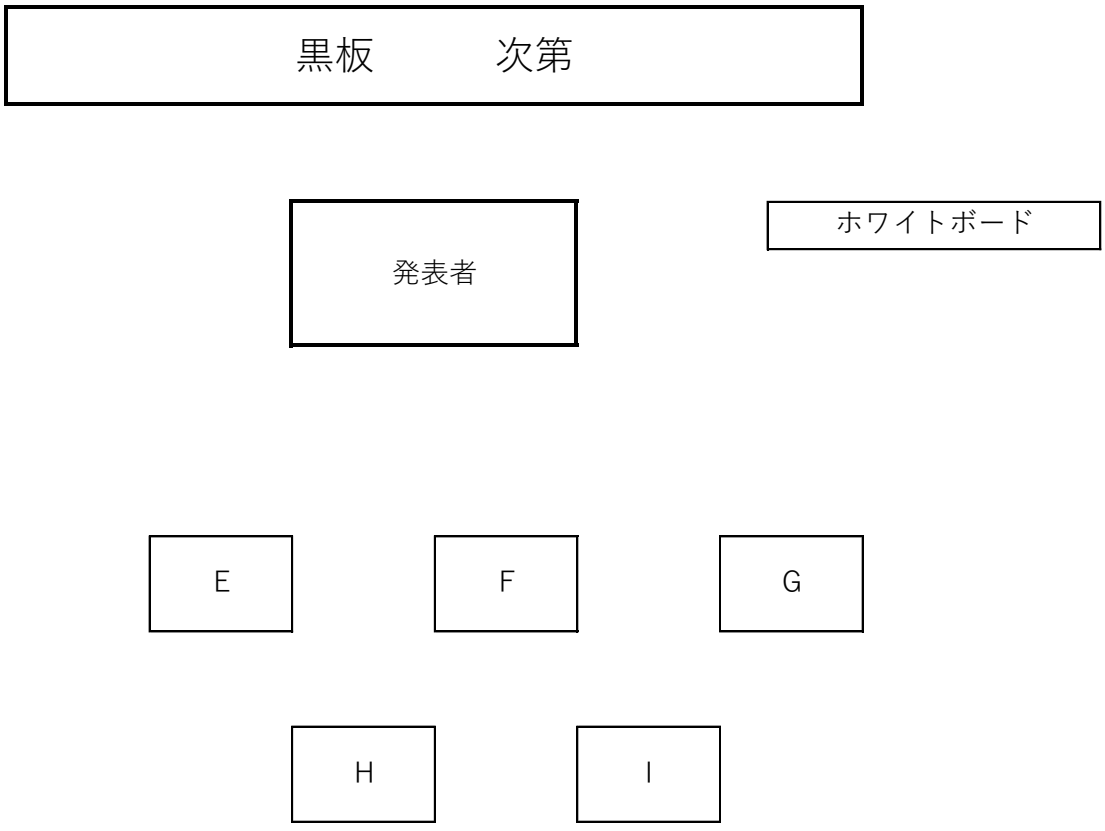
展開　（その２）　　場所…なのはな学級

段階	学習内容と活動	□ めあて　▭ 評価　・個人の学習活動　◎支援の手立て					準備物
		①　４年E	②　４年F	③　５年G	④　５年H	⑤　６年Ｉ	
導入 ５分	１学習内容を確認する。 **全体のめあて** **「自分の体験」について分かりやすく発表しよう。** ・質問したり感想を話したりする。（１回以上） ２個人のめあてを確認する。 ３発表の仕方、聞き方、感想の話し方について確認する。	**「たくさん収穫したよ」** ・収穫して思ったことを、はっきりと大きな声で発表する。 ・発表をよく聞き、自信を持って自分の考えを発表する。	**「がんばったリコーダー」** ・リコーダーの練習でがんばったことを、演奏を交えながら発表する。 ・発表をよく聞き、自信を持って自分の考えを発表する。	**「ソーイングの学習に取り組んで」** ・家庭科で学習した、並縫いの仕方の説明や実演をする。 ・質問や感想をはっきりとした声で話す。	**「和音の響きを感じて」** ・音楽で学習した、和音について説明しながら鍵盤ハーモニカで実演する。 ・発表を聞いて、内容に沿った質問や感想を話す。	**「校舎の絵が、完成するまで」** ・図工で取り組んだ「校舎の絵」が、できあがるまでを分かりやすく発表する。 ・興味を持ったことへの、質問や感想を話す。	全体のめあての表示 次第、個人のめあての表示 個人のめあて（各自の発表原稿） 発表の仕方・聞き方、感想の話し方表示
展開 35 分	４　「自分の体験」について発表する。	・野菜を収穫した体験について写真を示しながら、説明や感想をはっきりと大きな声で発表する。 ◎大きな声で、はっきりと発表することを意識させる。	・リコーダーの練習で頑張ったところやこれから頑張るところを、実演も交えながら発表する。 ◎声の大きさや速さ、間の取り方に気を付けさせる。	・家庭科で学習した、並縫いの仕方を、説明を加えながら実演する。 ◎はっきりした発音で、発表するように練習を重ねさせる。	・音楽で学習した、和音について説明を加えながら、鍵盤ハーモニカで実演する。 ◎Ｉ度・Ⅳ度・Ⅴ度の和音の響きの違いが分かるように説明させる。	・図工で取り組んだ「校舎の絵」が完成するまでの、過程や工夫を分かりやすく発表する。 ◎写真や実物を用いて、詳しく説明させる。	作文 資料 ホワイトボード
	５　友達の発表について質問したり感想を話したりする。 （１人以上の友達に話す。）	・友達の発表の内容を考えながら聞き、質問や感想を話す。 ◎2 回以上話せるように、興味を持ったことを引き出させる。	・友達の発表の内容を考えながら聞き、質問や感想を話す。 ◎2 回以上話せるように、興味を持ったことを引き出させる。	・友だちの発表をしっかり聞き、内容に沿った質問や感想を話す。 ◎内容から逸れないように、軌道修正しながら話させる。	・友だちの発表をしっかり聞き、質の高い質問や感想を話す。 ◎５年生らしい質問や感想かを考えさせながら話すことを促す。	・友だちの発表をしっかり聞き、興味を持ったことへ質問や感想を話す。 ◎ヒントカードを活用しながら、話させるようにする。	ヒントカード
終末 ５分	６　学習を振り返る。 個人のめあてを振り返る。	・収穫して思ったことを、はっきり大きな声で発表することができたか。 ・発表をよく聞き、自信を持って自分の考えを発表することができたか。	・リコーダーの練習でがんばったことを、演奏を交えながら発表することができたか。 ・発表をよく聞き、自信を持って自分の考えを発表することができたか。	・家庭科で学習した、並縫いの仕方の説明や実演をすることができたか。 ・質問や感想をはっきりとした声で話すことができたか。	・音楽で学習した、和音について説明しながら、鍵盤ハーモニカで実演することができたか。 ・発表を聞いて、内容に沿った質問や感想を話すことができたか。	・図工で取り組んだ「校舎の絵」ができあがるまでを、分かりやすく発表することができたか。 ・興味を持ったことへ、質問や感想を話すことができたか。	振り返り（各自の発表原稿）

－ 46 －

（4）座席表

ひまわり教室



なのはな教室